

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

経営とは想定外をなくすことと矛盾を解決すること 飯田 亮 (セコム創業者、現最高顧問)

1. 経営というのは、想定外をつぶしていく作業です。「そこまでやってできなきゃ仕方がない」と淡泊に考えるか、想定外をつぶすためにエネルギーを注ぎ込むか、それが企業の成否を分ける。その時に必要なのは想像力です。想像力というのは、思考の粘着性から生まれてくると考えます。あきらめずに考え抜く。その粘着性が想定外の領域をつぶし、新しいビジネスを生み出していく。
2. もう一つ経営は矛盾の固まりです。社会のためにきっちりとシステムを作るとコストがかかる。ただ、営利企業なので利潤も上げなければならない。こういう社会的コストと利潤という相矛盾するものを解決するところに経営はあります。
3. 私が 1962 年に会社を立ち上げた時、最も強く感じたのは矛盾をどうやって打ち消すか、ということだった。そのうちに矛盾を調整し、打ち消していくという作業そのものが経営だと感じるようになりました。そういう作業を繰り返すうちに、矛盾というものが不思議ではなくなってきました。逆に、矛盾がなければ経営が面白くも何もない。想定外をなくすことと矛盾を解決すること。これが経営の醍醐味でしょう。

(参考:「日経ビジネス」2011年6月6日号)

経営者のための理念・哲学

朝倉家の高い理念

榎 文彦 (建築家)

1. 東京の代官山の旧山手通り沿いにあるヒルサイドテラスは、地主であり、施主でもある朝倉家との何十年ものお付き合いの中で、少しずつ造り上げてきたものです。朝倉家はずっと代官山に住んでいて、自分たちが住んでいる街をよくしたいという思いがあります。
2. ヒルサイドテラスには、ギャラリーやコンサートホールなど文化施設も造りました。そして、「見る」「聴く」以外に、「読む」施設も必要だろうということで、ショップがあった場所に図書室も造った。ショップが入っていれば賃料が入るわけですが、目先の利益を追うのではなく、住みやすい街にしたい、という思いの強さを感じました。

(参考:「週刊東洋経済」:2011年6月11日号)

新規成長分野

クリーン石炭や新型ガスの活用

ジャック・アタリ (フランスの経済学者)

1. 将来のエネルギーを考えると、人びとはもっと太陽エネルギーを開拓すべきだといいますが、その前に、もっと安全な原子力発電についてのイノベーションがあるべきです。当面は完全な脱原発の方向にいくのではなく、原発と他のエネルギーを組み合わせるべきでしょう。
2. 長期的にみれば将来、太陽エネルギーが唯一頼れるエネルギーになると思いますが、現段階で太陽エネルギーは、主な電力源としてはほど遠い。そこに至るまではクリーン石炭(精炭)、新型ガスなどの活用も考えるべきです。いろいろなエネルギーを試すべきでしょう。

(参考:「Voice」2011年8月号)

古典に学ぶ

すべては心の持ち方次第だ

「心の中の事はすべて 心の持ちよう一つでどうにでもなる」

現代の言葉で言うと、「世間で起きるすべてのことは、あなたの心構えひとつでよくも悪くもなる」。

物事はすべて、気の持ちようです。今の自分の考えに固執せず、違う方向からの目線も持ってみようではありませんか。

(参考: 渋澤健「渋澤栄一100の金言」: 日経ビジネス人文庫)